

キックオフイベントでツイッターの登録方法などを学ぶ参加者＝瀬戸市で



# 瀬戸・尾張旭をつぶやくぞ

## ツイッターで店やセール情報

百四十文字以内の短文をインターネット上に投稿するツイッターを通じ、瀬戸市と尾張旭市周辺の情報を発信するコミュニティー「瀬戸旭交流会」が二十五日夜、正式に発足した。県内では名古屋、三河に続く三例目。この日瀬戸市内の飲食店であったキックオフイベントでは、「地元を元気にしよう」と参加者が息を合わせた。

(松本浩司)

交流会のメンバーは二十六日現在、両市などに在住などしている六十七人。ファイナンシャルプランナーやホームページ(HP)制作会社社長、飲食店社員、書店経営者ら多彩で、「せと・しごと塾」の小坂英雄塾長も発起人として名を連ねる。交流会のHPは「瀬戸旭交流会」で検索。

## 「地域を元気に」多彩な67人「交流会」発足

アカウント「@twi0561」を取得すると誰でも無料で登録・利用でき、会員になれる。HPでは利用方法が丁寧に解説されている。「せともの部」「パン・ベーク部」といった部活動感覚のグループ立ち上げや、写真などの投稿も自由だ。つぶやく型のツイッターはブログ(日記風サイト)とは異なり、知らない利用者を通じて「つぶやく」が波及していく特徴がある。キックオフイベントでは、セミナーの欠員を埋める手段にツイッターが活躍した経験を話す参加者がいた。交流会会長の大西文明さん(三)は「地域の安全情報からおいしい店の情報、セール情報までつぶやく。自治会や少年野球の連絡網としても使え、気軽に人とつながりやすい」と話す。将来的には二千人の利用が目標だ。